

進路だより

令和2年 6月29日
都立中野特別支援学校
第1号
校長 和田 慎也
担当 伊達 恵子

【専任より】

今年度、進路指導専任を担当することになりました田邊大樹です。中野2年目。前任校でも専任経験はありますが、新たな気持ちで進路指導のお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

◆「できた」は可能性を広げる

今までできなかったけど

- …みんなと一緒に活動ができた。
- …トイレのサインを出すことができた。
- …一人で目的地まで行くことができた。

私たちは、日々の生活の中で、彼らのいろいろな「できた」に遭遇します。

私自身、こんな経験があります。今までズボンのホックが外せず、いつも教員と一緒に着替えを行っていたAさん。練習に練習を重ねた結果、ある日突然、「できた」の声。「もう一度やってみて」とホックをかける私。そして「できた」と満面の笑み。あの時の「できた」が自信になり、それ以来、朝の着替えは一人で行くようになりました。彼の「できた」の満面の笑み。今でも私の心に焼き付いています。

「できなかったことができるようになること」

一つが自信になり、次の「やってみよう」へ。「やってみよう」は、次の「できた」につながります。

これら「できた」の積み重ねは、彼らの学校卒業後の進路先や生活の幅を広げます。例えば、もし、一人で公共交通機関を使って目的地まで行くことができたなら、活動範囲が広がり、生活をより豊かにすることでしょう。

日々の何気ない「できた」を意識したいものです。

(田邊)

【専任より】

こんにちは。進路専任の吉田拓史です。今年も昨年度に引き続き、進路専任をさせていただきます。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

◆「ありがとう」を言おう、言われよう

「ありがとう」という言葉は人を時にはやる気にさせ、元気づける言葉だと思いませんか？私は「ありがとう」を言うのも、言われるのも好きです。そこで、今年は「ありがとうと言える人、ありがとうと言われる人を目指す」を進路部のモットーとして、児童・生徒に伝えていきたいと思えます。ぜひ、御家庭でも「ありがとう」を意識してみてください。

◆自分で決めるということ。

「物事を自分で決めること」みなさんは生活の中で、しっかりと行えているでしょうか？自分で決めるということは責任が出てくるので、つい人に決定を任せてしまうことはあると思えます。卒業生の様子をみていて、楽しそうに生活をしていると感じる方は、様々な場面で「自己決定」ができていていると思います。

児童・生徒の生活を豊かにするのに「自己決定」は不可欠です。例えば「おやつ何を食べる」「自分で着るものを決める」といった、日常生活のなかの些細な場面で構わないので、自分で決める場面を設定してみてください。そして、その際は「間違った選択をしない方法」を教えるのではなく、「間違った選択をしてみた時の対処方法」を教えるようにしてください。かく言う私自身もそういった指導ができていないかと聞かれると、疑問符が付きまします。ぜひ、一緒に「自己決定」を意識して生活をしていきましょう。

(吉田)

【令和元年度進路状況】

<進路状況>

企業	就労移行	継続A型	継続B型	生活介護	自立訓練	合計
11	3	1	12	9	2	38

<企業就労者の内訳>

事務	製造	物流	小売	飲食	サービス
1	1	1	1	3	4

【本年度の進路部体制】

進路指導主任：小野寺 肇
進路指導専任：田邊 大樹
吉田 拓史
高等部3年生：林 有紗、黒澤 亮
高等部2年生：本橋 剛、梅津 健太郎
高等部1年生：久野 仁美、和泉 悠太
中学部：伊達 恵子
小学部：小田原 紀子

【第1回保護者向け進路研修会】

毎年、6月に実施していましたが進路研修会（各区の福祉情報）ですが、今年度は中止となりました。各区の福祉事業所の事業所一覧を配布しましたので、御活用ください。

【小学部】

御入学、御進級、おめでとうございます。

小学部では日常の生活の中で、少しずつ将来の進路を意識していけるよう、取り組んでいます。学校生活の中で将来に向けて取り組めることは「係仕事」です。毎日各学級の中で一人一人の実態に合わせて行っています。ごみ捨て、手紙取り等、決められた役割をやり遂げることで「達成感」や「自己有用感」を味わうことができるよう取り組んでいます。御家庭でも「おてつだい」に取り組んでいただいている方がいらっしゃると思います。食器を運んだり、洗濯物を一緒に畳んだりする等、日々の生活の中で子どもたちができることを積み重ねていくことが将来に向けて、社会参加・就労を見据えた取り組みになると思います。今年度も保護者の皆様と協力して取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(小田原)

【中学部】

分散登校期間が終わり、ようやく子どもたちの元氣な声が校舎内に響き渡るようになりました。

中学部では7月から縦割り授業（1年生から3年生までが一緒に学習する授業）のひとつである作業学習がスタートします。作業学習は、とりわけ進路を意識してねらいを設定した授業です。挨拶や報告などのコミュニケーションの力、一定時間集中して取り組む力、材料を丁寧に扱う力、また、活動への達成感を味わうこと、人の役に立つことを喜ぶことなど、どれも将来働くときに大切なことです。

作業学習だけでなく、毎日の生活の一つ一つが将来につながっていくことは言うまでもないのですが。

さて、令和2年度は少し遅れたスタートになってしまっただけで、どんな状況にも柔軟に対応できるようでありたいと思ひつつ、中学部の教員一同、今できる全ての準備をしっかりと整えて子どもたちをお迎ひします。

(伊達)

【高等部1年】

私は「オズの魔法使い」という童話が好きです。竜巻でオズの国に飛ばされたドロシーは、賢くなりたいかかし、優しくなりたいブリキ男、勇敢になりたいライオンと共に、どんな願ひでも叶えることができるという魔法使いに会うために冒険をします。一行は数々の苦難を乗り越え、ついに魔法使いに会うことができました。しかし、なんと魔法使いの正体は、魔法など使うことのできない、ただの老人だったのです。老人は願ひを叶えて欲しいという彼らの気持ちに答えるため、針の詰まった頭部、絹の袋の心臓、苦い液体をそれぞれに与えます。すると不思議なことに、かかしは賢く、ブリキ男は優しく、ライオンは勇敢になれたことを実感することができたのです。そう、彼らは初めから賢く、優しく、勇敢だったのです。ドロシーとの冒険によって、彼らは自らに秘められていた素晴らしい可能性を開花させ、魔法使いはそのことを彼ら自身に気がつかせたのです。

生徒の皆さんにも、まだまだ素晴らしい力がたくさんあります。我々進路指導部は、生徒の皆さんと冒険を共にするドロシーであり、自らの素晴らしさを実感してもらえような魔法使いでありたいと思ひています。

(久野 和泉)

【高等部2年】

進級おめでとうございます。自肅期間があけて新2年生としての活動が再開できつつあります。生徒の皆さんの元氣な姿をみることで嬉しく思ひています。2年生の進路のテーマは「考える」です。1年生では見学で様々な職業について知ることができました。2年生ではいよいよ実習がはじまります。実習を進めるなかで進路について考えていきましょう。延期となったミニ実習につきましては2学期に予定しております。また、その後の実習も行えるよう調整中でございます。

例年とは違うことや急な予定変更が予想されます。保護者のみなさまとの連携、協力を大切にしながら進路指導を進めていきたいと思ひております。1年間なにとぞよろしくお願ひいたします。

(梅津 本橋)

【高等部3年】

いよいよ最終学年になりました。3年生の進路のテーマは「決める」です。2年生での体験実習を経て、いよいよ進路先を決める為の現場実習が始まります。生徒自身が「この実習先に行きたい！という強い思いがあるかどうか」、そして「適性があるかどうか」を判断されることになり、評価も厳しくなります。働く力は、仕事への前向きな姿勢、周りの方々との調和、働く為の体力、気力、公共交通機関利用等の生活全般にわたる力を総合したものです。職業や作業の授業だけではなく、日々の生活の全てが進路指導につながっているということを意識しながら、3年生の日々を大切に過ごしてください。また、働くこと・進路を決める取り組み・学習の他に、充実した生活の仕方について考えていただけたらと思ひます。卒業後に豊かな生活をおくる為にも余暇活動は大切な時間です。自分の好きなことや趣味を見つけ、卒業後の生活に生かしていけるように御家庭と学校とで協力して考えてゆきたいと思ひておりますので、御理解御協力をよろしくお願ひいたします。

(黒澤 林)